

片破月夜

片破月の光を浴びて

スカラベは輝く。

残り香は優しく香り

もう会うこともないであろう。

風が緑色に色づき

温んだ水に浸かる頃。

弦月を見上げ

再び出会うことを望んでいる。

あれは夢か現か

月の赤さのせいであるのか。

柔らかな温もりと安らぎはすでになく。

月は軀をますます冷やしゆく。